

# マアジの資源管理に関する研究

(我が国周辺漁業資源調査)

(予算区分 交付金 研究期間 平成9～18年度)

担当：水産試験場伊豆分場

## 【研究の背景とねらい】

伊豆沿岸に来遊するマアジの漁場別漁獲量及び魚体測定調査を行い、それらの資源特性を把握して資源管理の資料とします。

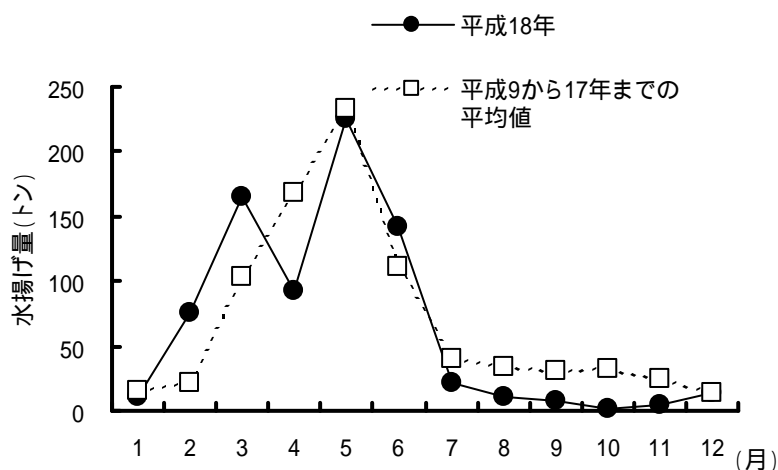
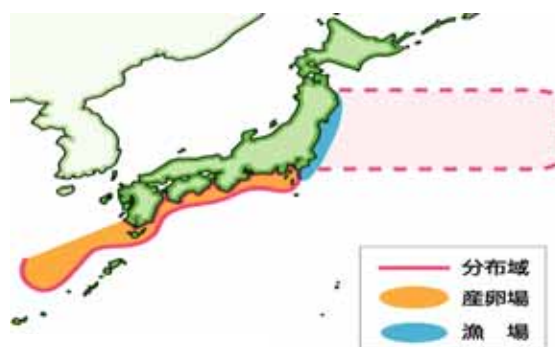
## 【研究成果】

平成9～18年の伊豆東岸大型定置網8ヶ統におけるマアジ月別漁獲量は、3～6月に多い傾向があり、その期間は100～200トン程度で推移しています。

平成18年は3・5月に多く、月別漁獲量はそれぞれ150、250トンとなりました。また、2～5月は20cm前後の1歳魚のほか、尾叉長23～25cmの2歳魚が主体でした。



マアジ *Trachurus japonicus*



マアジ漁獲量の経月推移

## 【研究成果の普及の方法】

普及事業の中で引き続き調査を実施し、逐次その成果を普及指導します。

(作成 平成19年3月)